



むらさき会だより

No. 4

平成12年9月1日

山村学園むらさき会



山村学園の出発点は川越の小仙波。私達の会で建てさせて頂いた碑があります。そこには厳しくて優しく、私達生徒と、いつも一緒に、導いてくださった先生を慕う卒業生の心が籠められています。校訓三つは学園の背骨であり、それを女性の理想として二十歳の時から亡くなれる日々で追求し続けられました。私たち同窓会員はぬみよ先生のご遺徳を偲ぶとともに学園の発展を心から望むものです。

私は戦争中に東京から川越市鴨田、埼玉医大近くに疎開で移りました。母の実家がありましたから。忘れられないのはぬみよ先生ですよ。きびしくて女性の優しさを備えて、今日この総会の席にいないのがさびしい。私だけではありませんよ。みんなの胸に強く残されて、いつまでも消えない先生ですね。

ぬみよ先生

むらさき会会長

田中 久子

信念の女性 山根先生

私は今もぬみよ先生はお説教よりは態度で訓えられた方、そばにいると、信念、情熱が伝わってくる感じの方、踵を踏む生徒の上履を、直して手渡すお姿を覚えています。いかげんなことができない方でした。教育一筋、立派な目標と情熱で学園をうち建てられた先生でしたね。

(山根先生はご退職後は小川町でご活躍されています)

奥村 雅代さん



貞淑 愛敬 質実



創立者

山村ぬみよ先生

昭和33年4月29日

藍綬褒章受章

昭和48年4月29日

勲四等宝冠章受章

来年のむらさき会総会は
五月二十日(日)十一時開会です

会場 川越プリンスホテル

本気だつたぬみよ先生 島津先生

女性の優しさ強さを併せもち、校内巡視もきめ細かく、生徒にも私達にも本気で接して下さった方でした。何か大きく遠い目標があり、ご自分がそれに向つて一心に歩いておられたように私は感じてい

皆さん、何十年ぶり?

昔 広沢(今 平本)さん
関根(今 細田)さん

私たち初めて同窓会に参りました。電話やお手紙で誘いあつてね。お互いに会いたいってね。来てよかつたね。

国田先生とは今日初めてよ。

小川先生が記憶にあります。

国田先生、いつごろから山村

南中学校の校長先生でしたか。

同窓会の会長さんは田中先生

なんですね。前は福田先生と

お呼びしていたんですよ。伊

藤先生福島先生三人揃つてお

元氣で安心しました。

今日は解散してから、同期

ばかりでね、もう一度おしゃべり会よ。こんなに楽しい日つて珍しいんです。昔のお友達はみんな元気。先生はもっとお元気でね。

「それぐの目標に向つて進みなさいよ」と話され思いつきました。教師にも生徒達にもけながら亡くなられたことと思ひます。「教える人は、先ず自分を正せ、目標を持つて」と訓えられ、それが教師の姿であると、身を以て論された。先生でした。

出丸から 中里 正枝さん

私は、初めての同窓会出席です。むらさき会っていうんですね。素敵な名前ですよ。

出丸の出身なんです。川越とは川一つ北の所です。山村

は女子の娘の学校だからと皆

にすすめられて出丸から通いました。今は川島町出丸と呼んで、水田地帯です。

井上すみ子先生はお元気でしょか。ほんとうにお世話を

になりながら、おめにかかる機会もなく――。

古田先生にもお目にかかりたいし――。

今、私は元気で、歩くことも平気、丈夫です。家の中も

朗らか円満!! 来年も出席し

むらさき会のお話

副会長

伊藤 慶子
福島 ミヤ子
野島 康子

山村国際高校を訪問して

編集委員

「私学は経費がかかる。それでも入学させたい。」といわれれるような掲示物があつた。

◎青少年育成のつどい作文発表会で最優秀賞並びに佳作に二人の入賞、地味な教育への取り組みがうかがわれる。

◎毛筆書道展、ファンションデザイン専門学校コンクールに三人の入賞者。

どちらも伝統とも云える分

同窓会をむらさき会としたのは校章の藤の花、見事に咲いて驕らない下り藤、その色は昔から高貴な色と称されてゐる紫。先年の総会で決定になりました、今日に至っています。少子化の社会にあれば、なおのこと良い美、強い正義感と健康を目標にする愛のこもる教育は望れます。大正の頃から現在、将来を展望されたぬみよ先生は本当に偉大です。

月一日にしたのは、ぬみよ先生のお誕生日に併せ、学園の発展を期待する同窓生の心をよせたものです。



いらっしゃいませ むらさき会でございます

山村学園 同窓会 むらさき会総会は 川越
平成13年5月20日(日) プリンスホテル

木村 敦子さん
卒業して二年目です。商業科を目指し入学し卒業と同時に就職。販売という仕事なので今やパソコンの猛勉強です。就職試験は無事パスでしたが後できいたら合格者は三割。入社テストの前の面接練習や

商業科十三組、清田先生には三年間お世話に。良い先生です。仕事、友達、同期生、みんなよかったです。清田先生有難うございます。

看護学校で勉強中の私

真坂 薩美さん

今と思い出

山田 禮子さん

私は坂戸の国際高校を卒業しました。入学してすぐに管弦楽同好会に入りましたが会員は四人。三年間続けて卒業と同時にその同好会もなくなりました。清水先生にはお世話になつてしましました。それで看護学校に受験し今や資格取得に向い一心に勉強しているところです。ここでは三年間勉強し、難しいと言われる合格を目指をおいて勉強しています。

国立埼玉病院附属看護学校で基礎的な学習をした後国家試験を受けるのです。

この学校は和光市にあり、家から電車通学です。今は患者さんや同僚との交渉も含め、ひたすら勉強中というところです。

私は天野先生に相談して細かく教えられ進路をきめました。現代文、数学、生物、英語を中心にしていましたが、進路の決定はやっぱり自分でした。願書も見学も高三の夏休みになりました。同窓会の総会が五月初りそうで——。クラスの方とは電話しますが。

国田先生、私も山田でございます。先生のお話、よく出るんですよ。先日も母が小川医院で先生とお話をしたって申しておりました。京子も御本を頂いたり京子からも詩集をお贈りしたり。城南中学時代から親子二代のおつきあい。帰つたら母と京子に話しましよう。

今日のむらさき会、とつても良かつた。来年も皆さんとご一緒に参りましょう。

私は吾野から通学

内沼 孝子さん

昔のことですね。山村学園は僕が厳しいし、将来を考えればということで、吾野から通学しましたね。家から学校まで片道二時間。往復なら四時間もね。南川とか子の権現とかいう所があるでしょう。あの山の方から、歩いたり電車を乗りついだりしてですよ。私は姉と二人山村卒業なんです。



さそいあってプリンスホテルへ むらさき会総会へ

むらさき会総会は

プリンスホテル

11時開会

厳しい訓え

高橋 清夏さん

一昨年のむらさき会の総会のときにはステージで踊ったチークの一人です。楽しくて忘れられません。いい総会でした。

女性の同窓会に私が一人籍を置く。これには訳がある。私が六十一歳で学園の一人になつた年にぬみよ先生から同窓会顧問を命ぜられ、翌月に近藤和一先生の病床に伺つた時に「俺の後を頼む、顧問だよ」と云われた。お二人ともご病気で亡くなられ、私はその言いつけ通り続けています。近藤先生は仇名がライオン。小学生の時の恩師の一人です。

私は美容師になりたくて勉強をしました。専門学校を受験したのですが、競争率は三倍。一般学科試験と常識問題でした。でも合格して毎日忙しく、きびしい勉強をがんばっています。

毎日が、忙しい楽しいの連続。就職先をさがすのも自分で。学校からの紹介を元に自力で歩きます。不思議に自分が鍛えられていく感じ。

家を出るのが七時、帰るのが十七時ぐらい。その他に練習があり、十五時から十八時までは課外授業があり、片端から挑戦しても疲れません。

在学中には厳しいなど考えた日もありましたが、卒業してみたら、それがよかつたと思います。楽しい毎日です。

